

研究課題名

小児の救急・集中治療体制に関する研究

(課題番号 713)

疫学研究実施についてのお知らせ

国立成育医療研究センターでは、小児の救急・集中治療体制や診療方針の違いにより転帰が異なるかについて検討することを目的として、以下の疫学研究を実施しております。概要を記しますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

平成 25 年 10 月 3 日

【研究課題名】

小児の救急・集中治療体制に関する研究

【研究期間】

倫理委員会承認後から平成 33 年 12 月

【研究の意義・目的】

本研究の目的は、日本における 2 次～3 次の小児救急医療施設において、共通するデータベースを用いて搬送経路、症状、初期診療および転帰を把握し、小児救急医療体制の違いにより転帰が異なるかについて検討します。また、このデータベースにより得られた集約化された症例から病院前救護、初期診療、および搬送経路と転帰との関連についても明らかにします。

【研究の方法】

## ※研究の対象

協力の得られた施設において、2013年10月～2019年9月に（P）ICUに入室などした16歳未満の小児約10000例を対象とします。

## ※研究の方法

- ① 調査方法：協力の得られた小児を扱う救急・集中治療施設において、下記の項目を有する Web 上のデータベースにおいて、入院事例があった場合に入力をします。データベースには各施設の ID は入力されない仕組みとなっており、独自の ID によって匿名化を行います。各施設においては病院における ID と本データベースの ID との連結表を有するものとします。説明変数、目的変数は下記の通りです

- \* 説明変数：独自 ID、生年月日、月齢、性別、入室日、退室日、予測死亡率、入室契機、退室時診断、診断カテゴリー、手術名、既往歴・手術歴、染色体異常、発症前 PCPC、蘇生、緊急度、入室時間、入室経路、搬送方法、搬送元地域、搬送距離、入室前施設、入室前主科、転送元所在、転送元加算状況、人工気道、使用デバイス（CMV, NPPV, HFO, iNO, ECMO, CHDF, PEX, PMX, ICP, CV line, PI/PICC, A line, 尿カテ）、有害事象
- \* 目的変数：転帰（退室経路、退室時 PCPC）、合併症（ARDS、Sepsis、CRBSI、VAP、CAUTI）、在室日数、Ai/剖検、脳死判定、人工気道

- ② 解析：小児専門の救急体制と成人も含めた救急体制において転帰が異なるか、症例について調整あるいはマッチさせて比較を行います。さらに集約化された症例から病院前救護、初期診療、および搬送経路と転帰との関連についても明らかにします。

【研究機関名】は下記の通りです。

1. 国立成育医療研究センター
2. 東京都立小児総合医療センター
3. 九州大学病院救命救急センター

4. 岡山大学病院高度救命救急センター
5. 大阪府立泉州救命救急センター
6. 大阪府立母子保健総合医療センター
7. 日本大学医学部附属板橋病院救命救急センター
8. 岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター
9. 順天堂大学医学部附属浦安病院救命救急センター
10. 金沢大学附属病院
11. 北里大学病院
12. 東京大学医学部附属病院
13. 北九州市立八幡病院
14. 市立札幌病院救命救急センター
15. 神奈川県立こども医療センター
16. 長野県立こども病院
17. 県立広島病院
18. 手稲溪仁会病院
19. 兵庫県立こども病院
20. 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
21. 熊本赤十字病院
22. 四国こどもとおとなの医療センター
23. 筑波大学附属病院
24. 静岡県立こども病院

【個人情報の保護について】

データはすべて匿名化された ID で管理する。Web 上のデータについては流出しないようセキュリティをかけます。

【研究への参加を希望されない場合】

今回の研究への参加を希望されない場合は当センターの患者様は下記の

連絡先までご連絡ください。他の医療機関を受診されている患者様は各々の医療機関の研究責任者までご連絡ください。患者様に関する医療情報の登録の中止と削除を行います。

【本研究に関する問い合わせ先】

国立成育医療研究センター研究所

成育社会医学研究部 藤原武男

Tel/Fax:03-3417-2663

【結果の公表】

結果については、要約データのみ学会・学術雑誌、報告書において公表します。

発表詳細は、決まり次第ホームページでご案内の予定です。